

2019年12月2日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 林 希一郎

ブラジル国持続可能な林産業支援事業
(海外投融資) 環境レビューに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2019年11月18日(金) 14:00～17:12
- ・場所：JICA 本部 (1階 111 会議室)
- ・ワーキンググループ委員：木口委員、柴田委員、林委員、原嶋委員、村山委員
- ・議題：ブラジル国持続可能な林産業支援事業(海外投融資)に係る環境レビューについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【EIA】ブラジル国持続可能な林産業支援事業(海外投融資)
 - 2) 【Environmental Monitoring Form】ブラジル国持続可能な林産業支援事業(海外投融資)
 - 3) 【環境レビュー方針】ブラジル国持続可能な林産業支援事業(海外投融資)環境レビュー
 - 4) 回答表及び別添資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第108回委員会)

- ・日時：2019年12月2日(月) 14:00～16:12
- ・場所：JICA 本部(1階 111・112 連結会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 本事業が持続可能な林産業に寄与する理由を詳述すること。
2. 全体として、PUMA I（既存工場）の環境管理計画の実績及び累積的影響評価結果を本事業に活かすよう実施主体に働きかけること。

代替案の検討

3. 本事業における環境負荷低減設備の投入と生産能力の強化が二酸化炭素排出量の変化に与える影響を定量的に確認すること。

スコーピング・マトリックス

4. 木材調達に係る方針の履行状況をモニタリングすることを確認すること。

環境配慮、社会配慮

5. EIAに記載されていなかった本事業に拠る交通量増加に伴う影響（大気質、騒音・振動、交通安全）および沈砂池設置の影響を評価し、影響が想定される場合の緩和策を審査において確認すること。また EIA に定量的な評価が記載されていなかった項目（水質、騒音・振動）について、評価の妥当性を確認すること。

以上